インターネットと情 報システム

情報科学の世界II

只木 進一(工学系研究科)

検索のしくみ Web上の情報

- インターネットには多数の情報
 - ー有用な情報、有害な情報
 - 信頼性の高い情報、低い情報

- 見分ける能力が必要

- 検索技術が必要

検索のしくみ 検索サービス:ディレクトリ型

- −人が情報を整理する
- ■検索用インデクスを作成

- リンク集のようなサイト
 - ▶内容の信頼性が高い
 - 多くを集められない
 - ▶情報更新が課題

検索のしくみ 検索サービス:ロボット型

- ロボットまたはクローラーと呼ばれる プログラムを使った自動収集
 - ▶リンクをたどって収集
 - サイトのトップからリンクを収集
- ■収集結果からインデクスを作成
- ランキング

検索のしくみ 検索サービス:ロボット型

- ー自動収集のため、玉石混交
- ランキングはそれなりの指標
 - ■ランキングを上げるための手法もある
- ■サイト運営者が拒否する場合もある

検索のしくみ 検索の技術

- ■単にキーワードだけでは候補が多数
- 上手な絞り込み技術が必要

- ▶論理演算の利用
 - AND, OR, NOT,

検索のしくみ 検索の技術

→ Google の場合

検索語	意味
Saga University	"Saga" AND "University"
Saga OR University	"Saga" OR "University"
Saga -University	"Saga" AND Not "University"
"Saga University"	連続した文字列"Saga University" を含む

Web検索の注意

- → Web で見たことは本当か疑う
- 根拠のない記述、誤った内容の記述も 多数
- ─他のサイトの受け売りも多数

Web検索の注意

- ■自分でよく考える
- −複数の記述を比較する
- ■責任のある記述なのかを考える
 - ▶著者、日付がついているか
 - −信頼できるサイトか

学習でWeb検索を使う際の注意

- →コピペは不正行為
- →wikipediaの内容をそのまま信じない
 - ▶誰が書いたか分からない
 - →誤りも含まれている
 - ▶きっかけ程度に使う
- ─信頼できる記述を読む
 - ▶書籍、電子書籍など

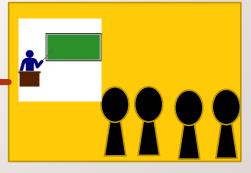
習:遠隔授業

自宅など



教室

別の教室



習:遠隔授業

- →遠隔地の教室(近くの別教室)で開講されている講義を、別教室で受講
 - −複数キャンパスの大学
 - ▶他大学の単位互換
- ▶自宅での受講
 - 一病気療養中
 - ▶障害があって自宅受講

習:遠隔授業

- リアルタイム(同時刻)での受講が基本
- →遠隔教室からの質問も可能

- ビデオ録画して後で見る
 - 復習
 - ─ どうしても受講出来なかった場合
 - ─どうやって、「見た」ことを確認するか

習:WBT

- WBT (Web-Based Training)
- → Web で教材を学習
 - テキスト、画像、音声、動画
- ─ Web でテストを実施

■講義の一つのテーマの側面が強い

習:LMS

- LMS (Learning Management System)
 - ■WBTと同様に、オンライン教材、オンラインテストを提供

→学期にわたる学習状況の記録の側面が 強い

インターネットを使った遠隔学習:WBT、LMSの利点の課題

- ─何度でも見直すことで、理解を深める
- 受講者は、いつでもどこでも学習できる
- 教室での、教師と学習者の議論、学習者同士の議論に代わるものをどうやって確保するか

習: MOOCs

- MOOCs (Massive Open Online Courses)
- ▶大学がオンライン講義を全世界に無償で公開
 - 英語圏の大大学が中心
- ▶修了認定を出す
- →日本での取組
 - http://www.cccties.org/

電子商取引

- ─ Webを利用した商品やサービスの販売
- ▶支払い形式の多様化
 - クレジット払い
 - −着払い
 - →コンビニ振り込み
- →顧客管理
 - →購入履歴から「おすすめ商品」を

電子商取引

- BTO (Build To Order)
 - →受注後に生産
 - ► PCなどのカスタマイズ
 - 書籍のオンデマンド印刷

- −偽物への注意
- 顧客情報漏洩事故